

すわ光昭 県政だより

発行 者
新ながの・公明 大町支部
支部長：諏訪光昭

〒398-0002 大町市大町(下仲町)4067
TEL：0261-23-7460 FAX：0261-23-7461



6月定例会で初めて議長席から本会議の議事進行を務めさせていただきました

ごあいさつ

日頃から、長野県議会の活動に対しまして、温かなご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大町市で、6月4日から7月30日まで57日間にわたって開催された、「北アルプス国際芸術祭2017 ～信濃大町 食とアートの廻廊～」は、成功裏に閉幕を迎えることができました。

本芸術祭に関しましては長野県も、平成28年度は「地域発！ 元気づくり支援金」により約500万円、平成29年度は、「アーティスト・イン・レジデンス・イン 信州モデル事業」により約1,000万円の財政的支援を行っています。

こうした芸術祭を開催することは、手段であってそれ自体が目的ではありません。その目的は、芸術が持つ人を引き付ける強い力と情報発信力を最大限に活用して、大町市の魅力とブランド力の向上につなげ、観光誘客の拡大等により大町市の活性化を図ることです。また、こうした芸術祭は、一過性のイベントではなく、継続的に開催していくことが重要であり、今後の開催に関して、牛越市長の決断に大いに期待するところでございます。

私は、今後の国際芸術祭の開催をはじめ、大町市で取り組む活性化対策が大町市のためになるだけでなく、長野県の振興につながるよう、様々な課題に取り組んでまいりますので引き続き、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

長野県議会議員 諏訪 光昭

県議会平成29年6月定例会(会期：6月22日～7月7日)の報告

県議会6月定例会では、高等学校再編・学びの改革、消防防災航空体制について、森林づくり県民税・森林整備等について、信州デスティネーションキャンペーン・観光振興等、様々な課題について活発に議論されました。

6月定例会の主な議論の概要をお知らせいたします。

●高等学校再編・学びの改革について

■議員の質問・質疑

平成30年度以降に、「学びの改革 実施方針」に則り、旧通学区ごとに検討を進め、「まとまったところから再編計画を策定し、校名を提示する」としているが、具体的に「まとまった」とはどのような過程を経て、どのような状況になることを想定しているのか。

●知事・部長等の答弁

7月・8月に開催する地域懇談会等を経て、その地域の高校の将来像をどうするか、という検討が始まっていくものと考えています。県教育委員会として主体的に関わるが、例えば市町村、市町村教育委員会、学校関係者、保護者、産業界代表等で組織される地域協議会のような組織が立ち上がり、地域内で高校再編の方向性に関する

一定の合意形成が図られたと判断のできる状況を想定しています。

■議員の質問・質疑

県内の中学生が越境して他県の高校に入学している状況にある。県内の高校に進学して本当に良かったと思える特色ある高校づくりや魅力ある学びの空間を創造してほしいと考えるが、今回の高校再編計画では、県外進学者への対応策をどのように検討していくのか伺う。

●知事・部長等の答弁

少子化が進行する中で子どもたちが県外へ流出するという課題に対しては、地域の方々とともに、特色や魅力のある高校の将来像を一緒になって考え、解決の方向性を見出していきたいと考えています。

●森林づくり県民税・森林整備等について

■議員の質問・質疑

里山の整備の推進を目的に導入された森林づくり県民税だが、その活用が十分でなかったと感じる。林業県への進化のために活用できないのか。若者のやりがいがある仕事としての林業振興や森林県長野の強みの発揮、また未来へ美しい森林を伝えるためにも、より良い森林づくり県民税の活用について伺う。

●知事・部長等の答弁

森林づくり県民税のあり方を議論していただいている県民会議からは、NPO等多様な団体の森林整備への参入促進や地域が抱えている様々な森林に関する課題への対応も必要との意見を、税制研究会からは、県が独自に超過課税を行うに当たっては、必要性を明確に示すことが重要との指摘もあり、県民アンケートの結果等も十分に踏まえ、今後の方針を定めていきたい。

■議員の質問・質疑

大北森林組合の補助金不適正受給に森林づくり県民税の一部が当たっていたことは、誠に残念。再発防止の取組を進めるのは当然だが、長野県の森林は、災害や管理放棄による危険をはらんでいる。身近な里山を木材利用や観光に活用できることが長野県の強み。県民に多様な意見もあるが、用途の拡大や市町村等が利用しやすい制度に変えていくことも必要。これまでの森林づくり県民税に対する評価と森林整備の基本的な考え方について伺う。

●知事・部長等の答弁

森林づくり県民税を活用した森林整備については、10

年間の目標とした38,400haに対し、32,210haの里山の間伐が実施される見込みであり、県民に身近な森林である里山の間伐が一定程度進展するなど成果が得られつつある。県民の皆様の安全・安心な暮らしを確保するため、森林整備は引き続き重要な政策であり、また、学びの場や県民あるいは本県来訪者の憩いの場等として総合的に森林を活用する取組も必要と考える。

●信州DCについて

■議員の質問・質疑

信州デスティネーションキャンペーン(以下「信州DC」といいます。)が、7年ぶりの開催となり、全国各地から多くの方に長野県にお越しいただき、満足、感動してほしいと期待しているところであるが、今回の信州DCは、どのような狙いや特徴があるのかを伺う。

●知事・部長等の答弁

一過性のイベントに終わられることなく、地域や事業者が一体となって今後の「観光地域づくり」につなげていくことが、今回の信州DCの最大の狙いです。特徴としては、コンセプトに基づく旅の提案、JR並びに私鉄各社の協力による500本を超えるイベント列車の運行、2次交通の検討や地域の価値の発見につながる着地型周遊バスツアーの運行、外国人を含む旅行者の利便性を高めるための観光情報・交通案内アプリ「信州ナビ」や多言語コールセンターなどの情報インフラ整備、県民や様々な主体の参画による「おもてなし県民運動」の展開等があります。



長野県市議会議長会からの陳情を受ける(議長応接室)



夏休み県庁見学イベントで議会棟探検ツアーを実施しました

「こんにちは県議会です」が大町市で開催されます

次代を担う若い世代や地域の住民の方々との意見交換を行い、県民に身近で開かれた県議会をめざすために、正副議長と広報担当の議員のほか、地元選出議員も参加して、「こんにちは県議会です」を開催しています。このたび、「こんにちは県議会です」が、以下の日程で開催されることとなりました。

当日は、一般の方の傍聴も可能です。ぜひ会場に足をお運びください。

開催日：平成29年12月19日(火)

時間：16時20分～(予定)

場所：大町岳陽高等学校

すわ光昭の公式ホームページもご覧ください。

すわ光昭

検索

